

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

現在日本の産業界の急激な構造変化の中、公共の高度実践技術者育成機関である職業能力開発大学校、短期大学校（以下、「能開大」とする）は、今後の発展を担う高度な知識・技能を持つ人材育成を目的として運営されている。本調査は、能開大の教育訓練事業への今後の改善に役立てるために、民間企業における技術系人材需要と育成状況を把握すると同時に、企業の修了生への評価による能開大の教育訓練効果測定を目的として行った。

第2節 調査の設計

2-1 調査対象企業と標本抽出

能開大卒業生採用実績のある企業 5,000 社、及び帝国データバンクの企業概要ファイル（COSMOS2）より抽出された上記を除いた 5,000 社の計 10,000 社を調査対象企業とした。

COSMOS2 からは、①建設業、②製造業の内、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、③サービス業の内、情報サービス業、土木建築サービス業、機械設計業、技術提供業の各業種に対し、企業規模毎（下記参照）に所定数を無作為抽出した。

表 1-1 COSMOS2 により抽出された標本分布状況

従業員数	標本企業数
～ 29人	800
30～ 99人	1400
100～299人	1400
300人～	1400
計	5000

2-2 調査方法

質問紙による郵送法とした。調査票の有効性について確認するために、事前に 5 社に対してプレ調査を行った。また、はがきによる督促を一度行った。

2-3 調査実施期間

平成 15 年 12 月 10 日～12 月 24 日に実施した。

2-4 回収状況

10,000 票送付の内、有効回収数は、1,977 票（有効回収率 19.8%）であった。

第3節 調査の内容

調査の項目は以下の通りである。

(回答企業の属性)

- F 1 所在地
- F 2 業種
- F 3 従業員数
- F 4 過去3年間に採用した新卒の学歴
- F 5 過去3年間の能開大卒業生の新卒採用の有無
 - F 5-1 採用経験のある課程（専門課程／応用課程）
 - F 5-1-1 採用経験のある学科（専門課程／応用課程それぞれ）

(技術・技能者の人材需要及び人材育成に関する企業調査)

- 問1 現在必要としている技術・技能者
 - 問1-1 現在不足している技術・技能者
 - 問1-2 人材育成の実施状況
 - 問1-3 技術・技能職に対する教育研修実施意向
 - 問1-3-1 教育研修を希望する分野

(能開大及びその卒業生に関する企業調査)

- 問2 能開大卒業生の採用意向
 - 問2-1 採用意向のある場合、その理由
- 問3 応用課程の教育訓練に対する評価
- 問4 能開大と関わった経験の有無
 - 問4-1 関わった内容
- 問5 応用課程への社会人学生の派遣意向
 - 問5-1 派遣意向のない場合、その理由

(採用実績企業による能開大卒業生の評価に関する調査)

- 問6 採用時に期待した能力や資質
- 問7 採用時の期待に対する採用後の実際の印象
- 問8 他の学校卒業生との比較評価

(全体的意見)

- 問9 能開大が取り組むべき課題
- 問10 能開大に対する意見・要望

第4節 回答企業の特性

今回の調査で回収された回答企業の、所在地、業種、従業員数、新卒採用の学歴、能開大卒業生採用の有無とその課程は、以下のとおりであった。

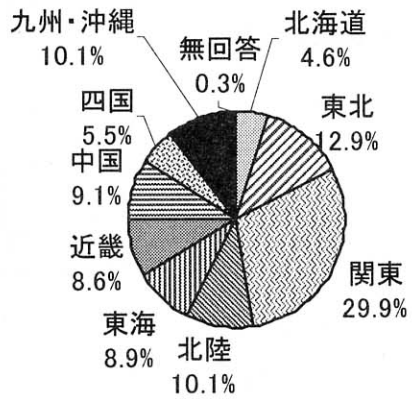


図1-1 所在地 (n=1977)

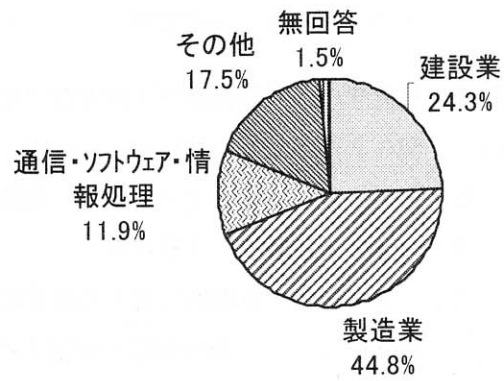
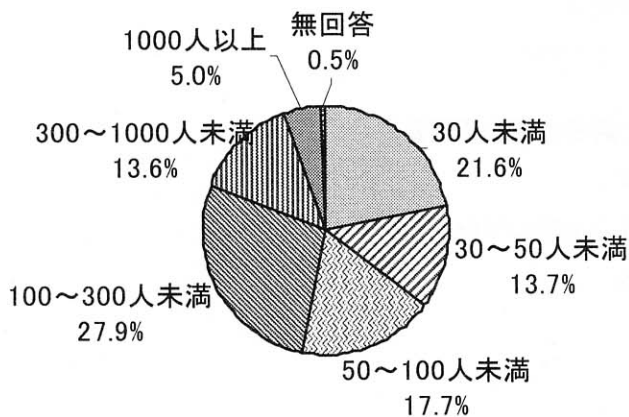


図1-2 業種 (n=1977)

図1-3 従業員数 (n=1977)



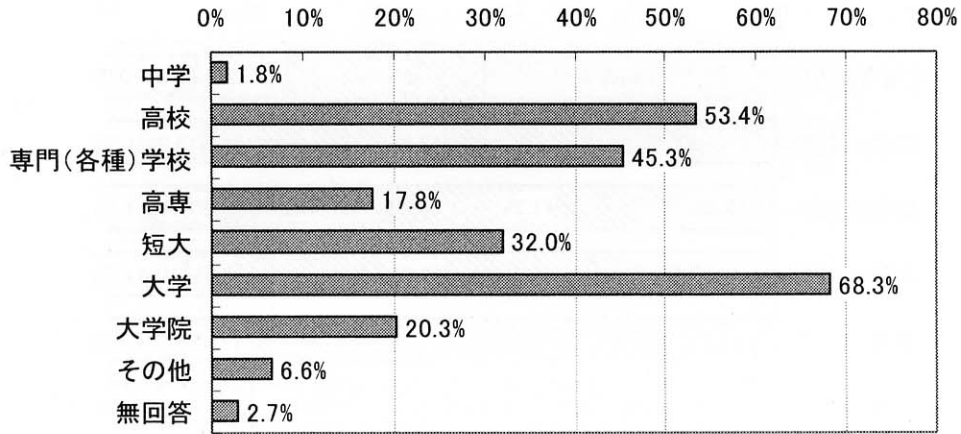


図1-4 過去3年間の新卒採用の学歴（複数回答、n=1977）

図1-5 過去3年間の能開大卒業生の新卒採用の有無（複数回答、n=1977）

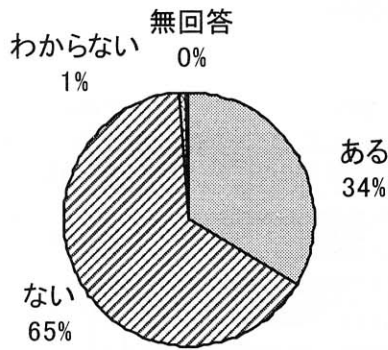


図1-6 採用した課程（複数回答、n=664）

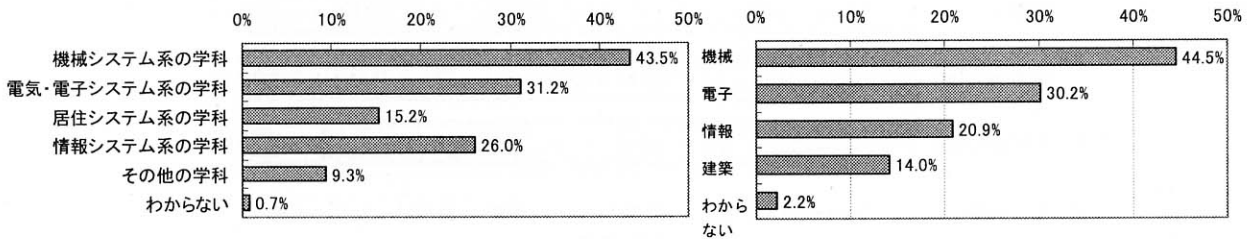
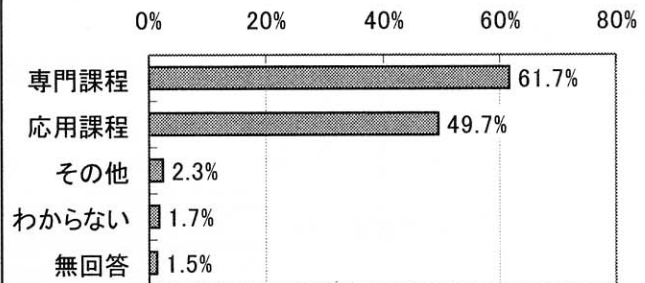


図1-7 採用した学科 <専門課程>（複数回答、n=407）

<応用課程>（複数回答、n=321）

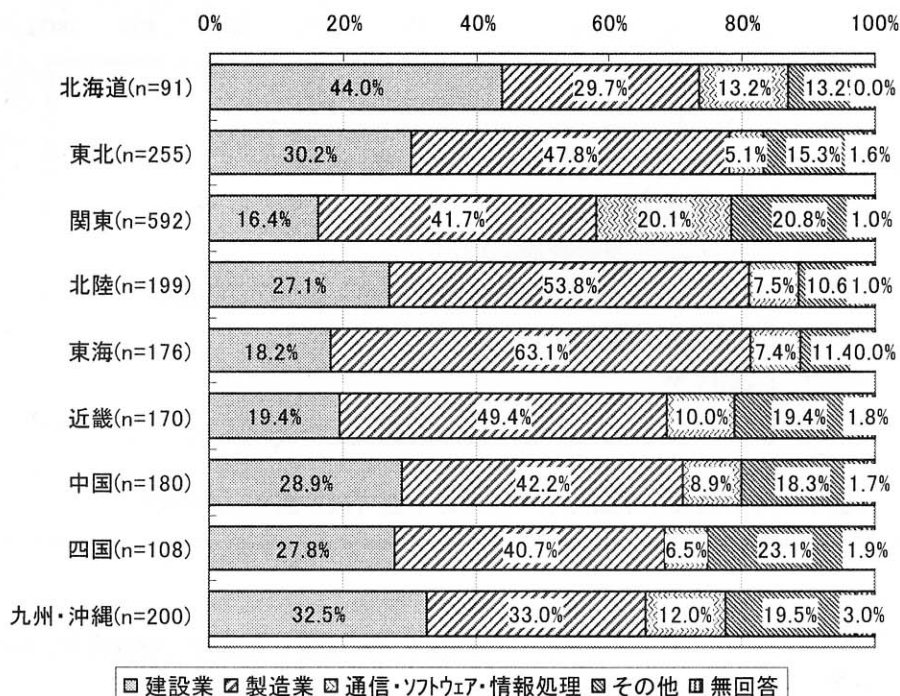


図 1-8 回答企業の所在地と業種の関係

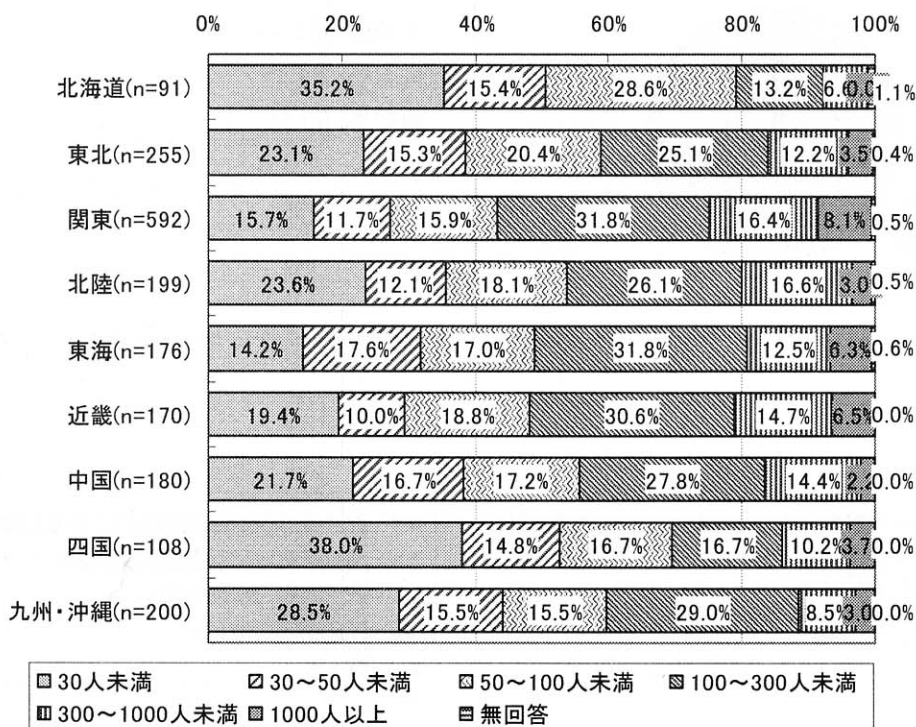


図 1-9 回答企業の所在地と従業員数の関係

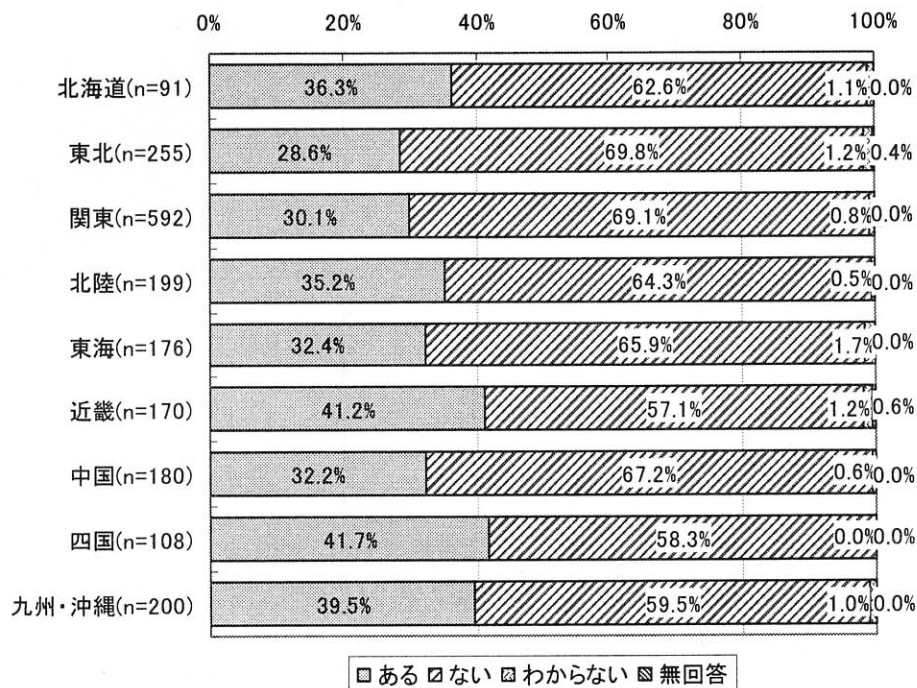


図1-10 回答企業の所在地と能開大卒業生採用の関係

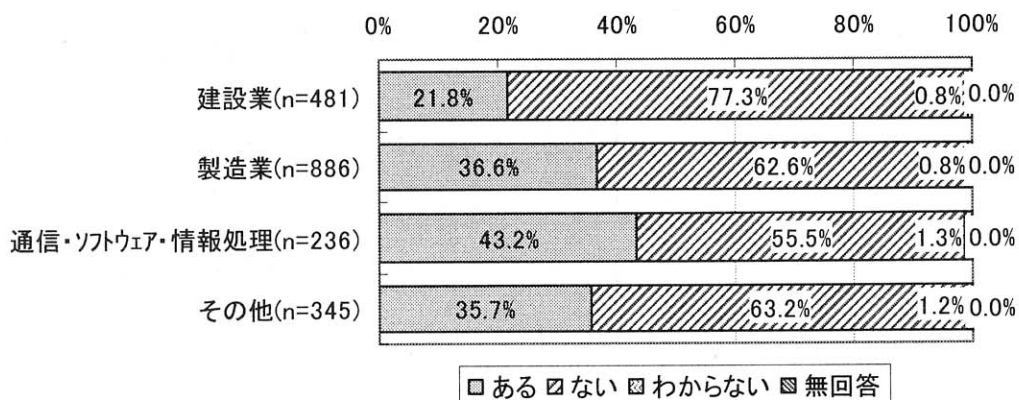


図1-11 回答企業の業種と能開大卒業生採用の関係